



# りそな銀行アジアニュース

平成 21 年 5 月 28 日  
りそな銀行 法人ソリューション営業部 国際業務室

【バンコック駐在員事務所】

## 「2009年第1・四半期のタイ経済動向について」

タイ国家経済社会開発庁(NESDB)は2009年第1・四半期(1~3月)の実質国内総生産(GDP)成長率(速報値)をマイナス7.1%と発表しました。世界同時不況が、タイ経済の牽引役である輸出に大きな打撃を与えているばかりでなく、投資・個人消費にも影響を及ぼしていることがわかります。

部門別の生産伸び率は、農林水産部門が引き続き成長を維持し3.5%上昇しました。非農林水産部門は大幅に収縮しマイナス8.1%となりました。中でも製造業はマイナス14.9%と最大の落ち込みを記録、建設業、ホテル・レストラン業、運輸・通信業も前年第4・四半期に比べ改善したものの、それぞれ前年同期に比べマイナス成長に留まりました。

貿易においては、輸出で数量が前年同期比17.9%減、金額(米ドル建て)は同19.3%減と鈍化、製品別に見ても金額ベースで自動車・同部品は35%、エレクトロニクス製品は32.4%、電化製品は30.4%それぞれ減少となりました。しかしながら、タイ工業連盟(FTI)によると、第2・四半期には海外からの受注が徐々に戻り始めていることから、当該期間中にプラス成長に転じると予想されています。一方、輸入でも金額(米ドル建て)が前年同期比マイナス38.3%と減速しました。今年第1・四半期の対米ドル・パーツ相場は平均1米ドル=35.31パーツとなり前年第4・四半期の34.78パーツよりドル高パーツ安になったことが要因の一つと考えられます。

内需については、投資では、民間・公共両部門でマイナスとなり、前年同期比マイナス15.8%と更なる悪化となりました。個人消費においては、一般消費者物価指数(CPI)上昇率が前年第4・四半期の2.1%増からマイナス0.3%と上昇が沈静化傾向にあるものの、食品・飲料で前年同期比10%増となったことが影響し、個人消費伸び率はマイナス2.6%に減速しました。マイナス成長は実に1999年第1・四半期以来10年ぶりです。政府支出は前年第4・四半期の11.0%から2.8%に減速したものの、プラスを確保しました。

NESDBによると、タイ経済は今年下半期に内需の増加、政府部門の投資拡大、輸出の好転等を背景に景気回復しプラス成長に転じると見込んでいます。ただ、今年通年のGDP伸び率予測はマイナス3.5%~マイナス2.5%とされています。

### 【部門別産業別生産伸び率】

(前年同期比増減%、速報値)

	2007年 通年	2008年 通年	2008年				2009年 第1・四半期
			第1・四半期	第2・四半期	第3・四半期	第4・四半期	
農林水産部門	1.8	5.0	3.1	8.6	9.6	1.6	3.5
非農林水産部門	5.2	2.4	6.2	5.0	3.5	▲4.9	▲8.1
製造業	6.2	3.9	9.5	7.7	6.1	▲6.7	▲14.9
建設業	1.6	▲4.7	1.1	▲3.4	▲4.5	▲12.8	▲7.9
ホテル・レストラン業	4.2	1.6	9.2	5.9	0.3	▲7.7	▲5.0
運輸・通信業	5.9	▲0.4	5.4	3.6	1.5	▲10.6	▲6.5
金融業	6.5	8.1	10.2	8.8	8.0	5.5	4.2
国内総生産(GDP)	4.9	2.6	6.0	5.3	3.9	▲4.2	▲7.1

【出所: NESDB】

照会先: 法人ソリューション営業部 国際業務室 (東京) 電話 03-5223-6672  
(大阪) 電話 06-6268-6357

当資料は、信頼できるとされる情報に基づいて作成しておりますが、弊行がその正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前の連絡なしに変更されることもあります。当資料は情報提供のみを目的としており、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に  
関しては、お客様御自身でご判断下さいませようお願い致します。 \* 禁無断転載